

## ◆ 埼玉県管内図 ◆

(平成21年3月現在)



## ◆ 本県の位置と面積 ◆

県庁所在地 (平成14.6.3測量)	さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号 東経 139° 39′ 北緯 35° 51′ 標高 15.32m
管内経緯度極点 (平成14.4.1現在)	東 三郷市 東経 139° 54′ 西 秩父市 東経 138° 42′ 南 新座市 北緯 35° 45′ 北 児玉郡上里町 北緯 36° 17′
面積 (平成17.10.1現在)	3,797.30km <sup>2</sup>

## ◆ 市町村合併の状況 ◆

合併期日	新市町名(合併関係市町村)	計	市	町	村
平成13年5月1日	さいたま市 (浦和市、大宮市、与野市)	90	41	39	10
17年1月1日	飯能市 (飯能市、名栗村)	89	41	40	8
4月1日	さいたま市 (さいたま市、岩槻市) 秩父市 (秩父市、吉田町、大滝村、荒川村)	85	40	39	6
10月1日	熊谷市 (熊谷市、大里町、妻沼町) 鴻巣市 (鴻巣市、吹上町、川里町) 春日部市 (春日部市、庄和町) ふじみ野市 (上福岡市、大井町) 小鹿野町 (小鹿野町、両神村)	78	40	33	5
18年1月1日	行田市 (行田市、南河原村) 深谷市 (深谷市、岡部町、川本町、花園町) 神川町 (神川町、神泉村)	73	40	30	3
1月10日	本庄市 (本庄市、児玉町)	72	40	29	3
2月1日	ときがわ町 (都幾川村、玉川村)	71	40	30	1
19年2月13日	熊谷市 (熊谷市、江南町)	70	40	29	1



## I 自然と人口

項目	データ	全国順位
(面積)		
面積	3,797.30km <sup>2</sup>	39
林野面積	122,806ha	41
自然公園面積	124,585ha	14
面積1km <sup>2</sup> 当たり人口密度	1,857.7人	4
面積中の可住地面積割合	67.6%	2
(気候)		
年平均気温	15.8℃	27
快晴日数	53日	1
最高気温(熊谷)	40.9℃	1
(人口)		
人口総数	7,054,243人	5
男	3,554,843人	5
女	3,499,400人	5
外国人	80,035人	6
年少人口(0~14歳)	986,361人	5
生産年齢人口(15~64歳)	4,892,253人	5
老年人口(65歳以上)	1,157,006人	6
生産年齢人口割合	69.4%	1
平均年齢	41.8歳	43
平均寿命(男)	79.05年	15
平均寿命(女)	85.29年	42
(人口変動)		
昼間人口	6,158,964人	5
昼夜間人口比率	87.5%	47
他都道府県からの転入者数	169,565人	3
他都道府県への転出者数	161,021人	4
出生数	60,818人	5
合計特殊出生率	1.26	40
死亡数	50,134人	6
(世帯)		
一般世帯数	2,630,623世帯	5
核家族世帯割合	64.4%	2
高齢単身世帯割合	5.5%	45
婚姻件数	40,304件	5
離婚件数	14,201件	4
平均初婚年齢(夫)	30.6歳	3
平均初婚年齢(妻)	28.5歳	5

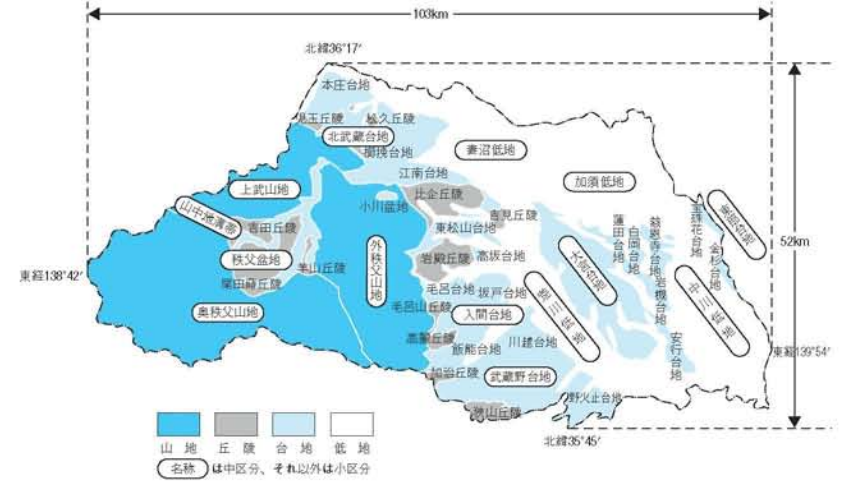
~本編より抜粋~

# 1 自然・地形

単 位	*1 林野面積		*2 自然公園面積		*3 自然環境保全地域面積		*4 河川延長一級河川(指定区間外含む)	
	ha	順位	ha	順位	ha	順位	km	順位
全 国	24 860 941		5 408 807		76 451.33		87 834.5	
北海道	5 568 179	1	865 629	1	5 957.83	3	10 173.0	1
青森県	630 080	9	114 591	18	1 230.17	16	1 081.0	34
岩手県	1 156 424	2	71 915	29	2 195.45	10	2 140.7	14
宮城県	412 980	21	171 199	8	7 817.32	2	2 112.3	15
秋田県	836 420	6	124 209	15	703.92	21	2 738.1	8
山形県	643 324	8	154 796	11	5 105.96	6	2 923.5	6
福島県	943 104	4	179 124	6	4 867.41	7	3 438.5	4
茨城県	187 627	39	90 896	20	645.21	22	1 890.7	20
栃木県	343 345	27	133 440	13	4 672.26	8	2 715.6	9
群馬県	406 290	22	88 970	21	5 327.21	4	2 904.5	7
埼玉県	122 806	41	124 585	14	518.24	24	1 636.5	25
千葉県	162 217	40	28 537	43	1 773.75	15	512.6	41
東京都	74 410	46	79 359	27	405.30	26	734.6	38
神奈川県	94 628	44	55 138	32	11 198.00	1	331.7	42
新潟県	810 142	7	316 891	2	2 008.42	13	3 607.4	3
富山県	239 480	35	119 754	17	623.78	23	1 168.8	32
石川県	279 581	32	52 494	33	1 050.50	17	316.8	43
福井県	310 796	30	61 432	31	273.12	29	1 099.5	33
山梨県	349 577	26	121 153	16	2 144.33	11	2 055.6	17
長野県	1 022 013	3	278 522	3	790.42	19	5 070.4	2
岐阜県	844 354	5	195 093	5	2 956.87	9	3 260.1	5
静岡県	497 090	16	83 780	25	5 185.52	5	1 627.9	26
愛知県	219 639	37	88 838	22	261.08	30	1 384.1	30
三重県	374 362	24	201 896	4	458.60	25	1 745.8	22
滋賀県	205 710	38	149 957	12	-	-	2 322.3	12
京都府	342 976	28	25 738	45	221.87	33	1 539.7	27
大阪府	57 847	47	19 092	47	38.33	43	670.8	39
兵庫県	562 626	14	166 015	9	398.30	27	1 760.1	21
奈良県	284 188	31	63 328	30	92.10	40	1 649.9	24
和歌山県	362 626	25	42 775	37	329.39	28	602.0	40
鳥取県	257 158	33	49 060	34	153.70	37	1 034.2	36
島根県	528 382	15	40 497	40	178.74	36	2 288.1	13
岡山県	489 875	17	80 664	26	101.33	39	2 543.8	10
広島県	621 467	10	37 853	42	2 054.12	12	2 424.6	11
山口県	434 679	20	42 667	38	-	-	209.8	44
徳島県	312 432	29	38 706	41	39.00	42	1 519.9	28
香川県	87 625	45	20 534	46	88.02	41	87.2	45
愛媛県	400 040	23	41 121	39	1 914.37	14	1 944.3	18
高知県	594 341	11	47 504	35	4.70	45	1 927.4	19
福岡県	222 654	36	88 107	23	134.11	38	1 300.2	31
佐賀県	110 041	43	26 884	44	243.93	31	1 077.5	35
長崎県	246 499	34	74 092	28	726.72	20	68.2	46
熊本県	464 943	18	155 636	10	182.01	35	1 734.5	23
大分県	456 488	19	174 849	7	16.16	44	2 074.4	16
宮崎県	587 641	13	91 919	19	183.97	34	1 507.8	29
鹿児島県	589 871	12	85 702	24	229.00	32	878.1	37
沖縄県	111 964	42	43 864	36	950.79	18	-	-

資料出所： \*1「農林業センサス」農林水産省 時点(周期)：平成17年2月1日(5年) \*2「環境統計集」環境省HP 平成20年3月31日(毎年) \*3「環境統計集」環境省HP 平成19年3月31日(毎年) \*4「河川管理統計」国土交通省 平成19年4月30日(毎年)

## 埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

### 県土の3分の1が林野

本県は関東地方の中西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,806haで県土の32.3%を占め、森林以外の草生地271haを除く現況森林面積122,535haは、県土保全・水資源のかん養・保健休養など貴重な役割を担っています。

### 県土の3分の1が自然公園

「環境統計集」によると、平成20年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,585haが指定されており、県土の32.81%を占めています。また、自然環境保全地域として、518.24haが環境大臣から指定されています。

流域に人口・資産が著しく集積する利根川・荒川水系は「一級河川」に指定されており、県内の150河川はすべて利根川水系及び荒川水系に含まれています。

※表\*2 自然公園面積は、国立・国定、都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

### ～隠れた“酒所”埼玉県～

武甲山伏流水や荒川水系・利根川水系の伏流水は酒の仕込みに大変適しています。

県内には35の酒造会社があり、平成19酒造年度の清酒鑑評会では、関東地方最多の(全国957点の出品数中)8酒造会社が金賞を受賞しました。



おしえてコバトン



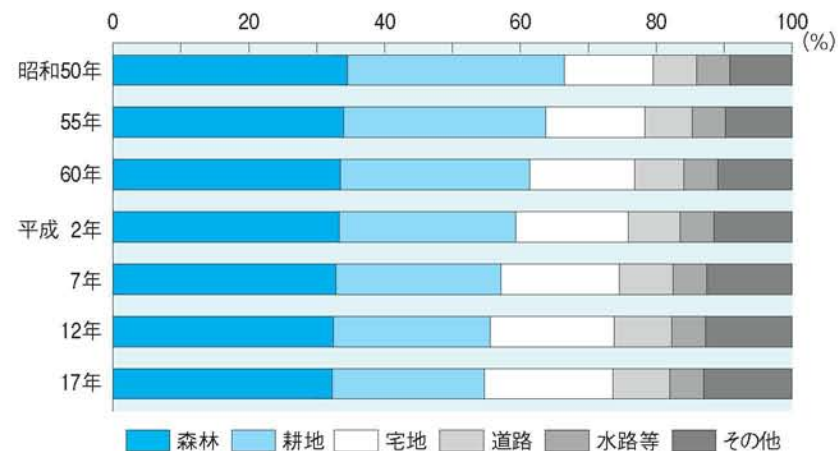
## 2 面積

単 位	*1 総面積 (北方地域及び 竹島を含む)		*2 総面積1km <sup>2</sup> あたり 人口密度		*3 総面積中の人口集中 地区面積割合		*4 総面積中の 可住地面積割合	
	km <sup>2</sup>	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 914.78		342.7		3.32		32.6	
北海道	83 455.73	1	71.8	47	0.96	43	27.9	31
青森県	9 606.88	8	149.5	40	1.65	34	33.4	22
岩手県	15 278.71	2	90.7	46	0.56	47	24.3	40
宮城県	7 285.60	16	324.0	19	3.22	17	43.0	14
秋田県	11 612.22	6	98.6	45	0.75	45	27.2	33
山形県	9 323.39	9	130.4	42	1.22	42	30.6	27
福島県	13 782.75	3	151.7	39	1.30	40	30.6	27
茨城県	6 095.68	24	488.1	12	3.82	13	65.2	4
栃木県	6 408.28	20	314.7	22	2.84	21	46.0	12
群馬県	6 363.16	21	318.1	21	3.11	19	36.1	17
埼玉県	3 797.30	39	1 857.7	4	17.83	4	67.6	2
千葉県	5 156.68	28	1 174.5	6	12.06	6	67.6	2
東京都	2 186.96	45	5 750.7	1	48.91	1	63.8	5
神奈川県	2 415.84	43	3 639.1	3	39.04	3	60.4	6
新潟県	12 583.32	5	193.2	34	1.80	30	35.6	18
富山県	4 247.39	33	261.7	25	2.37	26	43.6	13
石川県	4 185.46	35	280.5	23	2.49	25	33.0	23
福井県	4 189.25	34	196.1	32	1.78	32	25.5	36
山梨県	4 465.37	32	198.1	31	1.43	36	21.3	44
長野県	13 562.23	4	161.9	38	1.30	40	24.4	39
岐阜県	10 621.17	7	198.4	30	1.68	33	20.4	45
静岡県	7 780.03	13	487.5	13	5.34	11	35.1	20
愛知県	5 164.02	27	1 404.9	5	17.38	5	57.3	7
三重県	5 776.68	25	323.2	20	3.12	18	35.0	21
滋賀県	4 017.36	38	343.6	17	2.55	24	32.1	25
京都府	4 613.00	31	574.0	10	5.58	9	25.0	37
大阪府	1 894.31	46	4 654.6	2	47.61	2	69.5	1
兵庫県	8 394.92	12	666.0	8	6.71	8	32.9	24
奈良県	3 691.09	40	385.1	14	3.80	14	23.0	43
和歌山県	4 726.08	30	219.2	29	1.93	29	23.2	42
鳥取県	3 507.25	41	173.1	37	1.35	39	26.0	35
島根県	6 707.56	19	110.7	44	0.63	46	18.7	46
岡山県	7 112.73	17	275.2	24	2.78	22	31.1	26
広島県	8 477.92	11	339.3	18	3.62	15	26.6	34
山口県	6 111.91	23	244.2	28	3.39	16	28.6	30
徳島県	4 145.33	36	195.4	33	1.36	38	24.7	38
香川県	1 876.41	47	539.5	11	4.11	12	52.9	10
愛媛県	5 677.12	26	258.5	26	2.66	23	29.4	29
高知県	7 105.01	18	112.1	43	0.81	44	16.4	47
福岡県	4 976.12	29	1 014.8	7	11.25	7	55.1	8
佐賀県	2 439.58	42	355.1	16	2.12	27	54.9	9
長崎県	4 094.76	37	361.1	15	2.93	20	39.6	15
熊本県	7 404.83	15	248.8	27	1.99	28	37.1	16
大分県	6 339.32	22	190.8	35	1.79	31	27.9	31
宮崎県	7 734.77	14	149.1	41	1.46	35	23.7	41
鹿児島県	9 187.69	10	190.8	36	1.40	37	35.3	19
沖縄県	2 274.59	44	598.6	9	5.54	10	51.1	11

資料出所：\*1~3  
 「国勢調査」総務省統計局  
 時点(周期)：平成17年10月1日(5年)

\*4「社会生活統計指標」  
 総務省統計局  
 平成18年10月1日(毎年)

## 利用形態別土地利用



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

## 面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の本県の面積は3,797.30km<sup>2</sup>(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は1,857.7人で、前回調査(平成12年)と同じ全国第4位です。

また、人口集中地区は県内の全ての市と15の町に設定されており、総面積中の人口集中地区面積割合は17.83%で全国第4位です。

「社会生活統計指標」によると、平成18年10月1日現在の可住地面積の割合は全国平均の約2倍の67.6%で全国第2位です。

人口集中地区面積割合  $\text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$

可住地面積割合  $\text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$

※表\*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

## ～川の国 埼玉～

本県は、県土に占める河川や湖沼などの水辺の割合は、5.0%で全国で第4位、河川だけなら3.9%で全国第1位です。また、県内を流れる荒川の河口から62km地点の鴻巣市・吉見町にかかる御成橋付近の川幅は、2,537mもあり日本一です。



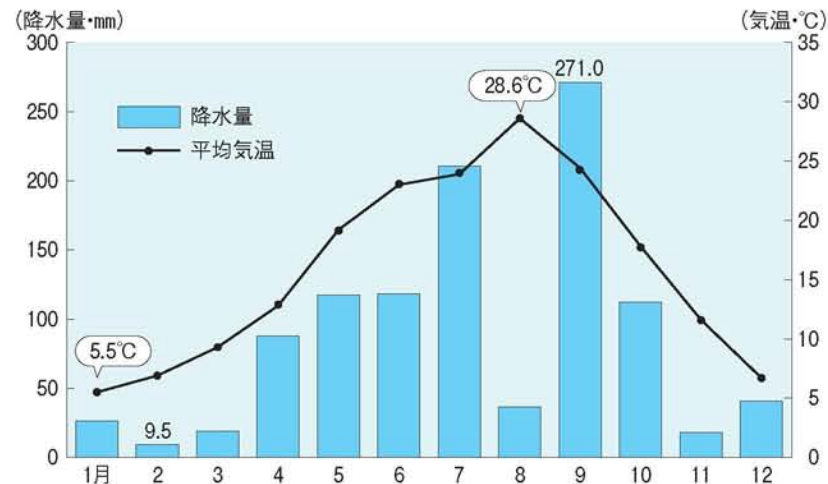
おしえてコバトン

### 3 気象

単 位	年平均気温		降水量(年間)		日照時間(年間)		快晴日数(年間) 日平均曇量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	...		...		...		...	
北海道	9.4	47	1 028.5	40	1 730.1	40	15	39
青森県	11.1	45	1 293.0	28	1 671.4	43	6	47
岩手県	10.7	46	1 398.0	20	1 782.0	37	9	44
宮城県	13.1	41	1 343.5	22	1 853.6	33	20	28
秋田県	12.4	43	1 555.0	14	1 578.2	47	10	42
山形県	12.2	44	1 247.5	31	1 623.2	46	11	40
福島県	13.6	40	1 279.0	29	1 802.8	35	18	35
茨城県	14.4	38	1 367.0	21	2 020.2	24	40	5
栃木県	14.6	37	1 320.5	25	2 037.7	23	35	7
群馬県	15.3	30	1 310.5	26	2 211.2	4	29	20
埼玉県	15.8	27	1 068.0	36	2 216.9	3	53	1
千葉県	16.6	20	1 190.0	34	1 980.2	27	42	4
東京都	17.0	17	1 332.0	23	1 996.0	25	35	7
神奈川県	16.5	23	1 464.5	18	2 046.0	22	32	14
新潟県	14.4	38	1 748.5	10	1 666.9	44	8	45
富山県	14.9	36	1 769.5	9	1 634.5	45	11	40
石川県	15.1	34	1 820.5	7	1 696.7	41	17	37
福井県	15.0	35	2 000.0	5	1 681.9	42	20	28
山梨県	15.3	30	1 052.5	37	2 262.6	1	33	12
長野県	12.5	42	887.0	44	1 971.6	28	10	42
岐阜県	16.4	24	1 608.0	12	2 119.4	15	33	12
静岡県	17.1	16	2 052.5	4	2 123.5	14	36	6
愛知県	16.6	20	1 269.5	30	2 125.0	11	21	27
三重県	16.6	20	1 310.0	27	2 141.6	10	30	18
滋賀県	15.2	33	1 473.5	17	1 898.9	32	24	23
京都府	16.3	25	1 212.5	32	1 829.6	34	20	28
大阪府	17.6	8	962.5	41	2 124.5	12	22	25
兵庫県	17.4	9	922.0	42	2 162.5	9	22	25
奈良県	15.3	30	1 109.5	35	1 899.5	31	31	16
和歌山県	17.3	13	912.5	43	2 185.0	7	19	32
鳥取県	15.5	29	1 594.5	13	1 762.2	38	18	35
島根県	15.7	28	1 492.0	15	1 799.2	36	19	32
岡山県	17.0	17	773.0	47	2 051.9	21	32	14
広島県	17.0	17	1 047.5	39	2 099.4	16	17	37
山口県	16.2	26	1 332.0	23	1 910.6	30	34	10
徳島県	17.4	9	860.5	45	2 200.7	6	30	18
香川県	17.3	13	795.0	46	2 173.0	8	23	24
愛媛県	17.3	13	1 051.5	38	2 098.4	17	19	32
高知県	17.9	7	1 859.0	6	2 210.6	5	28	21
福岡県	18.0	4	1 195.0	33	1 986.7	26	20	28
佐賀県	17.4	9	1 624.5	11	2 096.0	18	35	7
長崎県	18.0	4	1 464.0	19	1 946.6	29	34	10
熊本県	18.0	4	1 810.5	8	2 124.4	13	28	21
大分県	17.4	9	1 474.0	16	2 088.2	19	31	16
宮崎県	18.1	3	2 464.5	2	2 247.4	2	50	2
鹿児島県	19.3	2	2 420.0	3	2 083.0	20	46	3
沖縄県	23.5	1	2 816.5	1	1 759.4	39	8	45

資料出所：\*1~4  
 「気象庁年報」気象庁  
 時点(周期)：平成19年(毎年)

### 月別平均気温・降水量(平成19年・熊谷)



資料：「気象庁年報」気象庁

#### 夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、夏は高温多湿で雷が多く、冬は低温乾燥で北西の季節風が強い内陸性の太平洋側気候です。地域別に気温の特徴をみると、北部から南部の東側にかけて、夏の気温が県内で最も高くなります。

平成19年8月16日に熊谷と多治見(岐阜県)で、ともにこれまでの国内最高気温の記録を74年ぶりに更新する、40.9℃が観測されました。一方、秩父地方の盆地では、冬の夜間の冷え込みが強く、昭和29年に-15.8℃の最低記録が観測されました。

#### 年間快晴日数53日で全国第1位

「気象庁年報」によると、平成19年の熊谷地方気象台観測の年平均気温は、平年値より1.2℃高い15.8℃、最高気温は8月16日の40.9℃、最低気温は2月5日の-2.6℃でした。

また、年間降水量は平年値より175.2mm少ない1,068.0mmで、日最多降水量は10月27日の76.5mm、日最少降水量は11月11日の7.0mmでした。

日照時間は平年値より209.7時間多い2,216.9時間でした。

年間快晴日数は53日で、前年より13日増加し、全国第1位でした。

※表\*1~4中の各都道府県値は、原則として都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、滋賀県は彦根の値としました。

#### ～埼玉県のあつい街～



平成19年8月16日、当県北部に位置する熊谷で気温40.9度の日本最高気温が記録された際に「あついぞ！熊谷」シンボルキャラクターの「あつべえ」の図柄入りの温度計が全国に紹介されました。

平成20年夏の猛暑日(気温35℃以上)は、13日で昨年より7日少なかったものの、「あつべえ」は真夏のあつい街で大活躍です。



おしえてコバトン

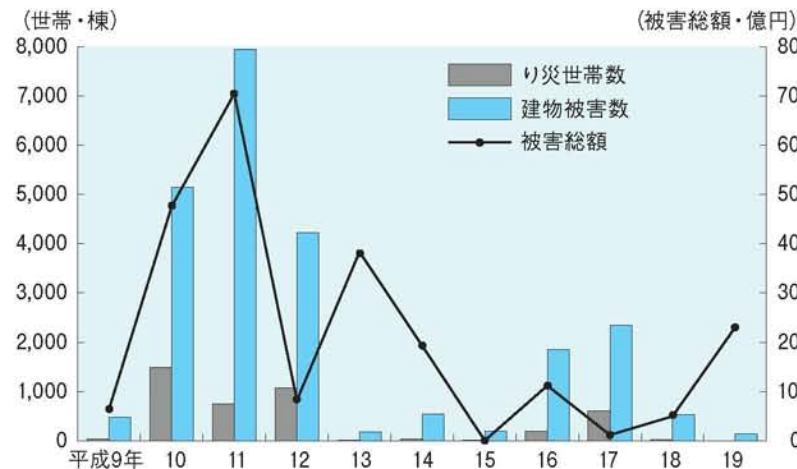


# 4 自然災害

単 位	*1 り災世帯数		*2 り災者数		*3 住家被害		*4 消防職員・団員 出動延人数	
	世帯	順位	人	順位	棟	順位	人	順位
全 国	12 223		33 221		88 339		194 071	
北海道	29 18		70 18		448 16		1 565 32	
青森県	157 9		389 8		931 7		5 583 13	
岩手県	112 13		303 12		710 12		17 197 1	
宮城県	16 21		41 22		236 23		7 203 7	
秋田県	525 3		1 467 3		1 421 4		9 602 5	
山形県	4 27		5 30		346 20		2 376 25	
福島県	20 20		48 21		381 18		- 42	
茨城県	4 27		4 31		49 37		1 753 27	
栃木県	- 37		- 36		46 38		1 624 29	
群馬県	127 11		317 11		394 17		1 798 26	
埼玉県	2 31		4 31		98 33		1 612 30	
千葉県	151 10		342 10		772 10		5 523 14	
東京都	3 29		7 27		287 21		3 544 23	
神奈川県	68 17		148 17		461 15		6 239 10	
新潟県	7 025 1		21 075 1		42 369 1		17 184 2	
富山県	- 37		- 36		32 41		1 641 28	
石川県	2 430 2		5 478 2		29 567 2		4 283 19	
福井県	1 35		2 34		1 46		- 42	
山梨県	5 26		14 26		27 44		4 045 21	
長野県	15 23		35 23		535 14		3 636 22	
岐阜県	6 25		19 25		172 27		531 36	
静岡県	286 4		675 4		1 447 3		4 231 20	
愛知県	- 37		- 36		75 36		1 577 31	
三重県	2 31		- 36		180 26		5 750 12	
滋賀県	- 37		- 36		46 38		- 42	
京都府	- 37		- 36		85 34		2 41	
大阪府	3 29		6 28		191 25		407 38	
兵庫県	11 24		27 24		81 35		- 42	
奈良県	183 6		507 5		1 222 5		818 35	
和歌山県	- 37		- 36		113 30		- 42	
鳥取県	16 21		61 20		245 22		369 39	
島根県	174 7		383 9		658 13		1 133 34	
岡山県	- 37		- 36		34 40		4 418 18	
広島県	121 12		241 13		128 29		6 076 11	
山口県	1 35		2 34		30 42		1 380 33	
徳島県	2 31		6 28		18 45		5 269 15	
香川県	- 37		- 36		- 47		6 693 8	
愛媛県	2 31		4 31		29 43		15 793 3	
高知県	27 19		67 19		107 31		- 42	
福岡県	- 37		- 36		151 28		4 737 17	
佐賀県	- 37		- 36		198 24		482 37	
長崎県	- 37		- 36		107 31		317 40	
熊本県	90 15		206 15		768 11		4 887 16	
大分県	97 14		236 14		365 19		7 597 6	
宮崎県	172 8		408 7		912 8		15 722 4	
鹿児島県	90 15		156 16		852 9		6 324 9	
沖縄県	246 5		468 6		1 014 6		3 150 24	

資料出所： \*1~4  
「消防白書」消防庁  
時点(周期)： 平成19年(毎年)

# 自然災害被害状況



資料：「消防白書」消防庁

## 県内でも震度4を観測した「平成19年新潟県中越沖地震」

「地震・火山月報(防災編)」によると、平成19年に国内で被害を伴った地震は9回、死者・行方不明者を伴う地震は、3月25日に発生した「平成19年能登半島地震」と7月16日に発生した「平成19年新潟県中越沖地震」でした。

本県の観測点で観測した震度1以上の地震は76回で、最大の震度は震度4(7月16日)でした。

気象庁によると、平成19年中に発生した台風の数24個(平年は26.7個)、うち日本に上陸した台風は3個(平年は2.6個)でした。

## 消防職員・団員の出動人数が大幅増加

「消防白書」によると、平成19年の自然災害によるり災世帯数は2世帯、り災者数は4人、被害総額は23億175万円でした。

被害の内訳は、重傷者1人、軽傷者4人、住家の一部破損14棟、床上浸水8棟、床下浸水76棟、河川4か所、崖がずれ105か所、田の冠水519ha、畑の冠水35ha でした。

被害報告のあった災害出動に係る消防職員及び消防団員の出動延べ人数は、前年より736人増加し、1,612人でした。

※表\*3は、全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の被害のあった住家の合計です。

## ～埼玉県で起きた大地震～

◆関東大地震：M7.9(大正12(1923)年9月1日午前11時58分)  
相模湾を震源とする海溝型の地震で日本史上、最も大きな被害が発生した地震。

埼玉県内の被害(死者316人、行方不明者95人、負傷者497人、家屋全壊9,268軒、家屋半壊7,577軒、家屋焼失一)

◆西埼玉地震：M6.9(昭和6(1931)年9月21日午前11時20分)

関東地方の広い範囲で震度5が観測され、荒川・利根川沿いの地盤の軟らかい地域に多くの被害をもたらした地震。(死者11人、負傷者114人、家屋全壊172軒)

県内で大地震など災害が発生した場合、「埼玉県特別機動援助隊(愛称：埼玉 SMART)」が迅速に災害現場に出動して救助・救命活動を行います。



おしえてコバトン

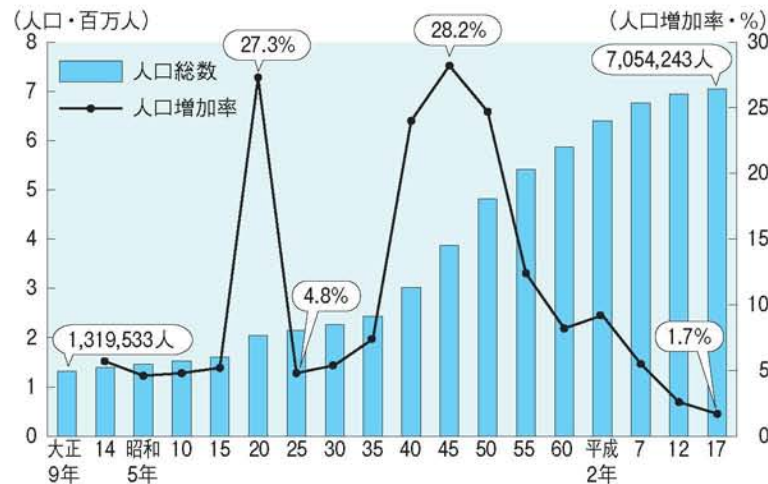


## 5 総人口

単 位	*1 人口総数		*2 男		*3 女		*4 外国人	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 767 994		62 348 977		65 419 017		1 555 505	
北海道	5 627 737	7	2 675 033	8	2 952 704	7	15 650	19
青森県	1 436 657	28	679 077	29	757 580	28	3 930	42
岩手県	1 385 041	30	663 580	32	721 461	30	5 367	37
宮城県	2 360 218	15	1 149 172	15	1 211 046	15	11 851	23
秋田県	1 145 501	37	540 539	37	604 962	37	3 635	44
山形県	1 216 181	33	585 023	33	631 158	34	6 383	34
福島県	2 091 319	18	1 016 724	18	1 074 595	18	10 065	27
茨城県	2 975 167	11	1 479 941	11	1 495 226	11	37 301	11
栃木県	2 016 631	20	1 002 114	19	1 014 517	21	26 322	17
群馬県	2 024 135	19	996 346	20	1 027 789	19	34 934	13
埼玉県	7 054 243	5	3 554 843	5	3 499 400	5	80 035	6
千葉県	6 056 462	6	3 029 486	6	3 026 976	6	73 116	7
東京都	12 576 601	1	6 264 895	1	6 311 706	1	248 363	1
神奈川県	8 791 597	3	4 444 555	2	4 347 042	3	115 412	4
新潟県	2 431 459	14	1 176 919	14	1 254 540	14	10 861	24
富山県	1 111 729	38	535 617	38	576 112	38	10 587	26
石川県	1 174 026	35	567 060	35	606 966	36	7 654	29
福井県	821 592	43	397 271	43	424 321	44	10 803	25
山梨県	884 515	41	433 569	41	450 946	42	13 564	21
長野県	2 196 114	16	1 068 203	16	1 127 911	16	34 764	14
岐阜県	2 107 226	17	1 020 570	17	1 086 656	17	36 793	12
静岡県	3 792 377	10	1 868 458	10	1 923 919	10	70 721	8
愛知県	7 254 704	4	3 638 994	4	3 615 710	4	150 115	3
三重県	1 866 963	22	907 214	22	959 749	23	34 249	15
滋賀県	1 380 361	31	681 474	28	698 887	31	22 750	18
京都府	2 647 660	13	1 272 993	13	1 374 667	13	46 044	9
大阪府	8 817 166	2	4 280 622	3	4 536 544	2	175 766	2
兵庫県	5 590 601	8	2 680 288	7	2 910 313	8	85 943	5
奈良県	1 421 310	29	676 375	30	744 935	29	8 848	28
和歌山県	1 035 969	39	488 022	39	547 947	39	5 021	38
鳥取県	607 012	47	290 190	47	316 822	47	3 853	43
島根県	742 223	46	353 703	46	388 520	46	4 464	40
岡山県	1 957 264	21	938 600	21	1 018 664	20	14 796	20
広島県	2 876 642	12	1 390 190	12	1 486 452	12	27 178	16
山口県	1 492 606	25	703 721	25	788 885	25	12 461	22
徳島県	809 950	44	384 635	44	425 315	43	4 206	41
香川県	1 012 400	40	486 108	40	526 292	40	6 008	35
愛媛県	1 467 815	27	691 677	26	776 138	27	6 773	32
高知県	796 292	45	374 435	45	421 857	45	2 927	47
福岡県	5 049 908	9	2 394 094	9	2 655 814	9	38 449	10
佐賀県	866 369	42	408 230	42	458 139	41	3 321	45
長崎県	1 478 632	26	691 444	27	787 188	26	5 675	36
熊本県	1 842 233	23	866 916	23	975 317	22	6 651	33
大分県	1 209 571	34	569 796	34	639 775	33	6 871	31
宮崎県	1 153 042	36	542 113	36	610 929	35	3 222	46
鹿児島県	1 753 179	24	819 646	24	933 533	24	4 906	39
沖縄県	1 361 594	32	668 502	31	693 092	32	6 897	30

資料出所：\*1~4  
 「国勢調査」総務省統計局  
 時点(周期)：平成17年10月1日(5年)

## 人口と人口増加率(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
 資料：「国勢調査」総務省統計局

### 人口増加率は過去最低

「国勢調査」による平成17年10月1日現在の人口は、前回調査(平成12年)よりも116,237人増加し、7,054,243人で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いていますが、増加率は過去最低の1.7%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が102.2、次いで本県が101.6、愛知県が100.6、千葉県100.1と4県で男性人口が女性人口を上回っています。

### 県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は、80,035人で、前回調査に比べて17,624人、28.2%増加しています。この結果、埼玉県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.24ポイント上昇して1.13%でした。

### ~どんだけえ~? 世界の総人口~

世界人口白書によると、2008年の世界全体人口は推定で約67億4,970万人でした。人口が最も多いのは中国で約13億3,630万人、次いでインドの約11億8,620万人、3位は米国の約3億880万人です。日本は第10位で約1億2,790万人です。



おしえてコバトン

	国 名	人口(百万人)
	世界全体	6,749.7
1	中国	1,336.3
2	インド	1,186.2
3	米国	308.8
4	インドネシア	234.3
5	ブラジル	194.2
6	パキスタン	167.0
7	バングラデシュ	161.3
8	ナイジェリア	151.5
9	ロシア・タジキスタン	141.8
10	日本	127.9

資料：「世界人口白書」国連人口基金

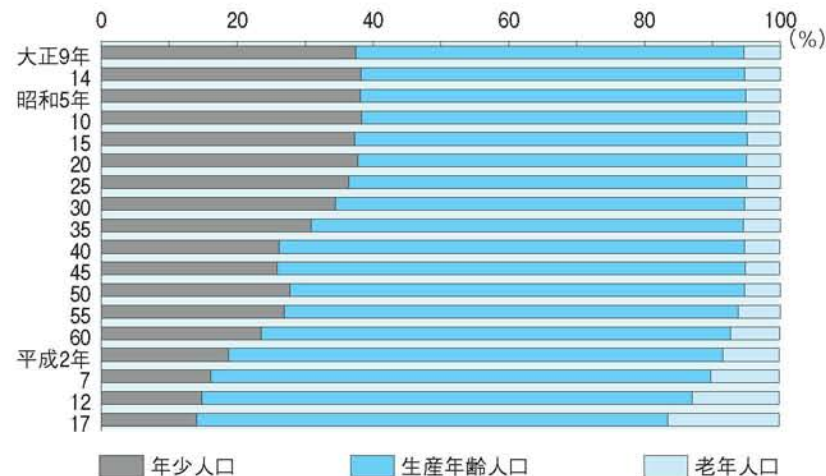


## 6 人口(年齢3区分別)

単 位	*1 年少人口 (0~14歳)		*2 生産年齢人口 (15~64歳)		*3 老年人口 (65歳以上)		*4 生産年齢 人口割合	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	17 521 234		84 092 414		25 672 005		65.8	
北海道	719 057	8	3 696 064	7	1 205 692	5	65.7	14
青森県	198 959	29	910 856	30	326 562	29	63.4	24
岩手県	190 578	32	850 253	32	339 957	28	61.4	42
宮城県	325 829	15	1 558 087	14	470 512	17	66.0	12
秋田県	142 507	39	694 288	38	308 193	31	60.6	46
山形県	166 653	34	739 030	35	309 913	30	60.8	45
福島県	307 294	17	1 307 734	20	474 860	16	62.5	30
茨城県	422 913	11	1 974 159	11	576 272	13	66.4	8
栃木県	285 245	20	1 336 513	18	390 896	24	66.3	10
群馬県	291 995	19	1 314 259	19	416 909	22	64.9	18
埼玉県	986 361	5	4 892 253	5	1 157 006	6	69.4	1
千葉県	819 348	6	4 154 600	6	1 060 343	8	68.6	4
東京都	1 424 667	1	8 695 592	1	2 295 527	1	69.1	3
神奈川県	1 184 631	3	6 088 141	2	1 480 262	3	69.2	2
新潟県	330 302	14	1 514 869	15	580 739	12	62.3	32
富山県	149 545	37	702 924	37	258 317	35	63.2	25
石川県	166 175	35	761 257	33	245 739	38	64.8	19
福井県	120 745	43	513 858	43	185 501	46	62.5	29
山梨県	127 627	42	562 495	41	193 580	45	63.6	23
長野県	316 368	16	1 356 317	17	521 984	15	61.8	40
岐阜県	305 845	18	1 357 583	16	442 124	18	64.4	21
静岡県	536 799	10	2 471 335	10	779 193	10	65.2	17
愛知県	1 069 498	4	4 901 072	4	1 248 562	4	67.6	5
三重県	266 741	22	1 197 255	22	400 647	23	64.1	22
滋賀県	213 147	27	916 572	27	249 418	37	66.4	7
京都府	345 071	13	1 755 447	13	530 350	14	66.3	9
大阪府	1 211 257	2	5 913 558	3	1 634 218	2	67.1	6
兵庫県	793 885	7	3 667 475	8	1 108 564	7	65.6	15
奈良県	197 136	30	938 702	25	283 528	33	66.0	11
和歌山県	142 670	38	642 428	39	249 473	36	62.0	34
鳥取県	84 823	47	375 539	47	146 113	47	61.9	36
島根県	100 542	46	439 471	46	201 103	42	59.2	47
岡山県	275 743	21	1 236 318	21	438 054	19	63.2	26
広島県	403 271	12	1 858 849	12	600 545	11	64.6	20
山口県	196 729	31	920 531	26	373 346	25	61.7	41
徳島県	105 814	44	506 642	44	197 313	43	62.6	28
香川県	139 505	40	635 746	40	235 508	39	62.8	27
愛媛県	200 270	28	914 747	28	351 990	26	62.3	31
高知県	102 421	45	487 367	45	206 375	41	61.2	43
福岡県	701 195	9	3 326 610	9	997 798	9	65.9	13
佐賀県	131 969	41	537 864	42	196 108	44	62.1	33
長崎県	215 987	26	913 224	29	348 820	27	61.8	39
熊本県	264 013	23	1 139 125	23	437 244	20	61.8	37
大分県	164 541	36	748 872	34	292 805	32	61.9	35
宮崎県	169 075	33	712 527	36	270 586	34	61.8	38
鹿児島県	252 285	25	1 065 960	24	434 559	21	60.8	44
沖縄県	254 203	24	888 046	31	218 897	40	65.2	16

資料出所： \*1~4  
[国勢調査]総務省統計局  
時点(周期)： 平成17年10月1日(5年)

## 年齢3区分別人口構成比(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。  
資料：「国勢調査」総務省統計局

### 減少する年少人口割合

「国勢調査」による平成17年10月1日現在の年齢で3区分した人口をみると、年少人口は986,361人で本県の総人口の14.0%、生産年齢人口は4,892,253人で同69.4%、老年人口は1,157,006人で同16.4%でした。年少人口は前回調査(平成12年)に比べ38,426人減少し、昭和45年以降初めて100万人を割り込み、年少人口の総人口に占める割合も大正9年の第1回調査以来、最も低くなりました。

### 生産年齢人口割合全国第1位

生産年齢人口についても大正9年の第1回調査以降初めて減少(前回調査比118,949人減)しました。また、総人口に占める割合は前回調査に比べ2.8ポイント減少したものの、69.4%で前回調査に続き全国第1位でした。

### 増加する老年人口割合

老年人口は、前回調査に比べ267,763人増加し、総人口に占める割合も3.6ポイント上昇しました。前回調査の老年人口の割合は、全国47位でしたが、今回、沖縄県を上回り全国第46位でした。

※表\*4の順位は、総務省統計局公表の順位です。

### ~「埼玉県の人口を教えてください」~

「人口は、時点の違いや調査等の違いで変わります。」

・国勢調査 全数調査で、5年に1度10月1日現在の人口を公表。

総数=日本人+外国人

・推計人口 国勢調査人口を基礎にして、それ以降の人口増減を住民基本台帳及び外国人登録から調査し加減したもの。毎月1日現在の推計人口を月末に公表。  
総数=日本人+外国人

・住民基本台帳人口 各市町村に備え付けてある住民基本台帳に記録されている人口。毎年3月31日現在の人口を公表。総数=日本人

・埼玉県町(丁)字別人口 住民基本台帳及び外国人登録から各市町村の協力を得て把握した人口。毎年、1月1日午前零時現在の結果を公表。



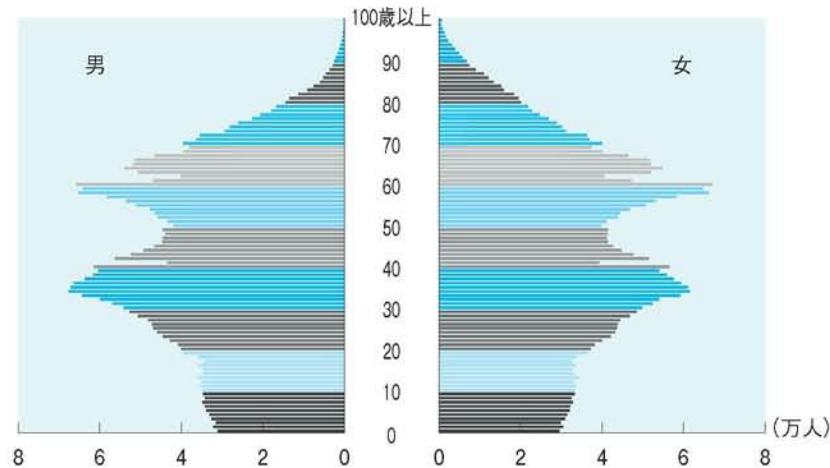
おしえてコバトン



# 7 年齢

# 人口ピラミッド(平成20年1月1日現在)

単 位	*1 平均年齢		*2 年齢中位数		*3 平均寿命(男)		*4 平均寿命(女)	
	歳	順位	歳	順位	年	順位	年	順位
全 国	43.3		43.3		78.79		85.75	
北海道	44.4	21	45.4	21	78.30	33	85.78	25
青森県	44.7	18	46.3	18	76.27	47	84.80	47
岩手県	45.4	8	47.1	8	77.81	45	85.49	37
宮城県	42.8	39	42.8	38	78.60	27	85.75	26
秋田県	47.1	1	49.8	1	77.44	46	85.19	45
山形県	45.8	5	47.6	5	78.54	28	85.72	27
福島県	44.2	23	45.4	21	77.97	42	85.45	39
茨城県	43.1	35	43.5	34	78.35	30	85.26	43
栃木県	43.1	35	43.5	34	78.01	40	85.03	46
群馬県	43.6	30	44.0	31	78.78	22	85.47	38
埼玉県	41.8	43	41.2	42	79.05	15	85.29	42
千葉県	42.4	42	42.0	40	78.95	18	85.49	36
東京都	42.8	39	41.2	42	79.36	5	85.70	28
神奈川県	41.8	43	40.6	45	79.52	3	86.03	18
新潟県	45.2	12	46.7	12	78.75	23	86.27	9
富山県	45.3	11	46.6	13	79.07	12	86.32	7
石川県	43.7	29	44.1	28	79.26	8	86.46	6
福井県	44.3	22	45.1	24	79.47	4	86.25	11
山梨県	43.9	25	44.2	26	78.89	21	86.17	12
長野県	44.9	16	45.7	20	79.84	1	86.48	5
岐阜県	43.5	32	44.0	31	79.00	16	85.56	35
静岡県	43.6	30	44.1	28	79.35	6	86.06	16
愛知県	41.5	46	40.5	46	79.05	14	85.40	40
三重県	43.8	27	44.2	26	78.90	20	85.58	34
滋賀県	41.6	45	40.8	44	79.60	2	86.17	13
京都府	43.2	34	42.6	39	79.34	7	85.92	19
大阪府	42.6	41	41.9	41	78.21	36	85.20	44
兵庫県	43.1	35	43.1	36	78.72	24	85.62	33
奈良県	43.4	33	43.9	33	79.25	9	85.84	24
和歌山県	45.5	7	47.1	8	77.97	41	85.34	41
鳥取県	45.1	13	46.6	13	78.26	34	86.27	8
島根県	46.7	2	49.2	2	78.49	29	86.57	2
岡山県	44.2	23	44.9	25	79.22	11	86.49	4
広島県	43.8	27	44.1	28	79.06	13	86.27	10
山口県	46.1	4	48.5	4	78.11	38	85.63	32
徳島県	45.6	6	47.4	6	78.09	39	85.67	30
香川県	45.0	15	46.4	17	78.91	19	85.89	20
愛媛県	45.4	8	47.0	10	78.25	35	85.64	31
高知県	46.5	3	48.7	3	77.93	44	85.87	21
福岡県	42.9	38	42.9	37	78.35	31	85.84	23
佐賀県	43.9	25	45.2	23	78.31	32	86.04	17
長崎県	44.8	17	46.5	16	78.13	37	85.85	22
熊本県	44.7	18	46.0	19	79.22	10	86.54	3
大分県	45.4	8	47.3	7	78.99	17	86.06	15
宮崎県	44.7	18	46.6	13	78.62	26	86.11	14
鹿児島県	45.1	13	46.8	11	77.97	43	85.70	29
沖縄県	39.1	47	37.9	47	78.64	25	86.88	1



資料：「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」県統計課

### 全国で4番目に若い県

「国勢調査」による平成17年10月1日現在の平均年齢は、前回調査(平成12年)より2.2歳上昇し41.8歳でした。前は沖縄県に次いで2番目に若い県でしたが、今回は沖縄県、愛知県、滋賀県に次いで全国で4番目となりました。

また、年齢中位数は41.2歳で、全国第42位でした。

### 平均寿命の男女差は全国で最少

「都道府県別生命表」によると、平成17年の国勢調査等を基に算出した埼玉県の平均寿命は男性が79.05年、女性は85.29年で30年前(昭和50年)と比べてそれぞれ7.17年、8.68年上昇しています。平均寿命の男女差は全国で6.95年となりましたが、埼玉県は6.24年で、都道府県中で最も小さくなりました。

### 年齢構成別で30代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査結果」による平成20年1月1日現在の埼玉県の人口を年齢構成別にみると、30代が1,186,383人で総数の16.5%を占め最も多く、次いで50代が1,025,914人で同14.3%、60代が973,243人で同13.6%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{総人口}} + 0.5$$

※表\*3,4の順位は、厚生労働省公表の順位です。

十二支	人口(万人)	総人口に占める割合(%)	人口順位
総数	12,767	100.0	-
子(ね)	1,170	9.2	1
丑(うし)	1,082	8.5	3
寅(とら)	1,045	8.2	9
卯(う)	1,027	8.0	10
辰(たつ)	1,050	8.2	8
巳(み)	1,056	8.3	5
午(うま)	1,002	7.8	12
未(ひつじ)	1,060	8.3	4
申(さる)	1,054	8.3	7
酉(とり)	1,011	7.9	11
戌(いぬ)	1,055	8.3	6
亥(い)	1,153	9.0	2

### ~日本で一番多い子(ね)年生まれ~

平成21年1月1日現在の十二支別人口で一番多いのは、子(ね)年生まれの1,170万人、次いで亥(い)年の1,153万人、今年の干支の丑(うし)年生まれは1,082万人で第3位です。一番少ないのは、午(うま)年生まれの1,002万人です。

※平成21年生まれの丑年の人は含まない。

資料：「人口推計月報」総務省統計局



おしえてコバトン

資料出所：\*1~2 「国勢調査」総務省統計局  
時点(周期)：平成17年10月1日(5年)

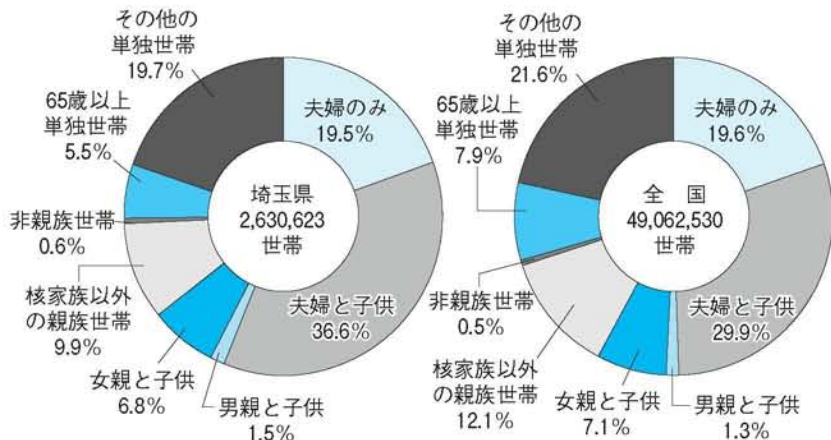
\*3~4 「都道府県別生命表」厚生労働省HP  
平成17年(5年)



# 8 世帯

## 家族類型別一般世帯構成比(平成17年10月1日)

単位	*1 一般世帯数		*2 1世帯当たり人員(一般世帯)		*3 核家族世帯割合(一般世帯)		*4 高齢単身世帯割合(一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	49 062 530		2.55		57.9		7.9	
北海道	2 368 892	6	2.31	46	58.9	18	9.0	15
青森県	509 107	28	2.75	18	54.2	35	8.2	23
岩手県	479 302	31	2.82	12	51.3	43	7.6	26
宮城県	858 628	14	2.70	24	52.8	38	5.9	42
秋田県	391 276	36	2.85	8	51.3	43	8.5	21
山形県	385 416	37	3.09	1	46.8	47	6.5	36
福島県	707 223	21	2.91	7	52.3	39	7.0	32
茨城県	1 029 481	13	2.84	10	58.3	20	5.5	45
栃木県	705 206	22	2.81	13	56.6	30	5.9	42
群馬県	724 121	18	2.75	19	60.1	11	6.7	34
埼玉県	2 630 623	5	2.64	27	64.4	2	5.5	45
千葉県	2 304 321	7	2.58	33	62.1	4	5.9	42
東京都	5 747 460	1	2.13	47	51.0	46	8.7	17
神奈川県	3 549 710	3	2.43	41	61.2	9	6.4	38
新潟県	812 726	15	2.93	5	51.9	41	6.5	36
富山県	370 230	40	2.93	4	53.4	37	6.8	33
石川県	423 157	35	2.70	23	53.9	36	7.1	30
福井県	267 385	45	3.00	2	52.0	40	6.7	34
山梨県	320 170	42	2.71	22	57.6	22	7.5	27
長野県	777 931	16	2.77	16	56.2	31	7.2	29
岐阜県	710 166	20	2.92	6	57.4	24	6.3	39
静岡県	1 346 952	10	2.77	17	56.8	27	6.1	41
愛知県	2 724 476	4	2.62	31	58.8	19	6.2	40
三重県	672 552	23	2.73	21	59.5	14	7.9	24
滋賀県	477 645	32	2.85	9	58.2	21	5.4	47
京都府	1 063 907	12	2.43	42	56.9	26	8.7	17
大阪府	3 590 593	2	2.40	43	60.1	10	9.5	9
兵庫県	2 128 963	8	2.58	34	62.7	3	9.1	13
奈良県	500 994	29	2.78	14	64.9	1	7.4	28
和歌山県	383 214	38	2.65	26	61.9	6	11.2	3
鳥取県	208 526	47	2.83	11	51.7	42	8.3	22
島根県	259 289	46	2.78	15	51.3	43	9.4	10
岡山県	724 474	17	2.63	29	56.8	27	8.7	17
広島県	1 131 024	11	2.47	37	59.6	13	9.1	13
山口県	588 736	25	2.46	40	59.7	12	11.2	3
徳島県	297 539	43	2.64	28	55.6	33	9.4	10
香川県	375 634	39	2.63	30	59.0	17	8.8	16
愛媛県	581 003	26	2.47	39	59.5	14	10.5	6
高知県	323 327	41	2.38	44	56.2	27	12.7	2
福岡県	1 984 662	9	2.47	38	57.2	25	8.7	17
佐賀県	286 239	44	2.94	3	55.2	34	7.9	24
長崎県	551 530	27	2.59	32	59.2	16	10.3	7
熊本県	664 338	24	2.69	25	56.2	31	9.2	12
大分県	465 195	33	2.52	35	57.6	22	10.2	8
宮崎県	449 269	34	2.50	36	61.3	8	10.6	5
鹿児島県	722 937	19	2.35	45	61.4	7	13.4	1
沖縄県	486 981	30	2.74	20	62.1	4	7.1	30



資料：「国勢調査」総務省統計局

### 増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」による平成17年10月1日現在の総世帯数は2,650,115世帯で、そのうち一般世帯数が2,630,623世帯、施設等の世帯が2,471世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成12年)と比べると全ての都道府県で増加しており、本県は160,136世帯(6.5%)増加しています。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.64人で、全国平均(2.55人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しています。1世帯あたり人員はすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

### 核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯数をみると、核家族世帯が1,693,052世帯で一般世帯の64.4%を占めており、この割合は全国第2位でした。なお、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は512,288世帯(一般世帯の19.5%)、夫婦と子供から成る世帯は962,808世帯(同36.6%)でした。

高齢単身世帯は、前回調査より47.9%増加して143,923世帯で、一般世帯に占める割合は5.5%でした。

※表\*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

### ◆ 家族類型別世帯数の推移 ◆

(単位：世帯・%)

	一般世帯数	親族世帯	うち核家族世帯	非親族世帯	単身世帯	親族世帯に占める核家族世帯の割合	一般世帯に占める核家族世帯の割合
1980	1,578,048	1,326,048	1,071,329	2,573	249,427	80.8	67.9
1985	1,745,952	1,456,147	1,184,422	2,965	286,840	81.3	67.8
1990	2,027,970	1,624,391	1,347,213	5,072	398,507	82.9	66.4
1995	2,278,736	1,782,171	1,502,520	7,761	488,804	84.3	65.9
2000	2,470,487	1,886,856	1,617,277	11,726	571,905	85.7	65.5
2005	2,630,623	1,953,313	1,693,052	14,668	662,642	86.7	64.4

(注) 一般世帯=親族世帯+非親族世帯+単身世帯、親族世帯=核家族世帯+その他の親族世帯  
資料：「国勢調査」総務省統計局

資料出所：\*1~4  
「国勢調査」総務省統計局  
時点(周期)：平成17年10月1日(5年)

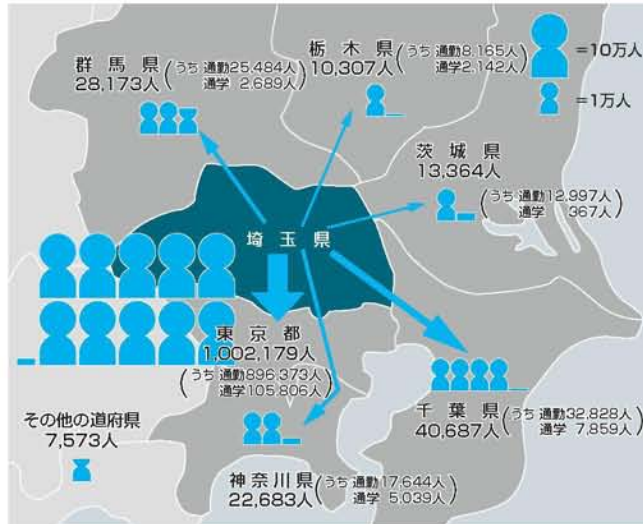


# 9 昼間人口

単 位	*1 昼間人口		*2 昼夜間人口比率		*3 流入人口		*4 流出人口	
	人	順位	%	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 285 653		100.0		5 825 846		5 825 846	
北海道	5 619 202	6	100.0	18	4 119	44	5 741	42
青森県	1 435 322	28	99.9	23	6 607	41	7 675	36
岩手県	1 377 316	29	99.7	29	8 601	31	12 066	27
宮城県	2 356 573	15	100.1	13	21 299	21	19 164	25
秋田県	1 144 053	37	99.9	24	2 515	45	3 452	45
山形県	1 214 739	33	99.9	22	4 984	42	5 843	41
福島県	2 082 022	17	99.6	33	12 275	24	20 125	23
茨城県	2 885 594	11	97.0	40	77 026	9	165 143	9
栃木県	1 997 809	20	99.3	36	58 830	11	73 852	13
群馬県	2 020 684	18	99.9	27	58 670	12	61 011	16
埼玉県	6 158 964	5	87.5	47	255 851	4	1 124 966	2
千葉県	5 340 259	7	88.5	46	192 383	6	883 987	3
東京都	14 977 580	1	120.6	1	3 026 291	1	481 636	4
神奈川県	7 905 219	3	90.3	44	291 051	3	1 131 345	1
新潟県	2 428 268	14	100.1	11	6 983	38	4 618	44
富山県	1 107 974	38	99.7	30	6 625	40	9 436	31
石川県	1 177 115	35	100.3	5	11 927	26	8 009	35
福井県	821 456	43	100.2	8	6 770	39	5 429	43
山梨県	875 550	41	99.1	37	10 455	28	18 565	26
長野県	2 192 533	16	99.9	25	9 503	30	11 636	28
岐阜県	2 018 595	19	95.9	42	46 488	14	133 071	10
静岡県	3 783 248	10	99.9	26	34 586	17	38 659	18
愛知県	7 341 385	4	101.7	3	200 692	5	78 788	12
三重県	1 824 266	23	97.8	38	30 260	19	70 490	14
滋賀県	1 327 275	31	96.2	41	43 205	15	94 351	11
京都府	2 651 073	13	100.8	4	184 210	7	165 194	8
大阪府	9 241 468	2	105.5	2	740 010	2	257 416	6
兵庫県	5 298 677	8	95.1	43	133 887	8	403 921	5
奈良県	1 258 665	32	88.7	45	57 892	13	218 864	7
和歌山県	1 011 556	40	97.8	39	17 422	22	40 924	17
鳥取県	607 449	47	100.2	9	8 566	32	7 612	37
島根県	740 729	46	99.9	20	8 302	35	8 684	33
岡山県	1 948 832	21	99.9	21	22 174	20	23 783	21
広島県	2 872 032	12	100.3	6	33 722	18	24 263	20
山口県	1 482 350	25	99.4	35	14 601	23	22 753	22
徳島県	807 551	44	99.7	32	4 292	43	6 513	40
香川県	1 012 636	39	100.2	7	9 898	29	8 071	34
愛媛県	1 468 813	27	100.1	10	8 465	33	6 652	39
高知県	795 109	45	99.9	28	2 320	46	3 350	46
福岡県	5 030 396	9	100.1	12	68 747	10	63 892	15
佐賀県	866 003	42	100.0	15	36 379	16	36 560	19
長崎県	1 474 240	26	99.7	31	7 119	37	10 907	29
熊本県	1 832 633	22	99.6	34	12 220	25	19 906	24
大分県	1 207 316	34	100.1	14	10 784	27	9 655	30
宮崎県	1 152 158	36	100.0	16	7 499	36	7 527	38
鹿児島県	1 752 159	24	100.0	19	8 341	34	8 998	32
沖縄県	1 360 807	30	100.0	17	1 000	47	1 343	47

資料出所：\*1~4  
 「国勢調査」総務省統計局  
 時点(周期)：平成17年10月1日(5年)

## 県外への通勤・通学者数(平成17年10月1日現在)



注) 15歳以上。年齢不詳者を除く。  
 資料：総務省統計局「国勢調査」

### 通勤・通学者の約9割が東京都へ

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成12年)よりも173,467人(2.9%)増加して6,158,964人で、全国第5位でした。一方、夜間人口は7,035,620人でした。昼夜間人口比率は87.5で、前回調査に続き全国47位でした。

県統計課によると、本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,910,900人で、そのうち県外に就業・通学している者(流出人口)は、1,124,966人でした。

県外への通勤・通学者は、東京都への1,002,179人(県外への通勤・通学者の89.1%)が最も多く、次いで千葉県への40,687人(同3.6%)、群馬県への28,173人(同2.5%)でした。

また、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち本県に就業・通学している者(流入人口)は、255,851人でした。

県外からの通勤・通学者は、東京都からの146,698人(県外からの通勤・通学者の57.3%)が最も多く、次いで千葉県からの37,447人(同14.6%)、群馬県からの25,548人(同10.0%)の順でした。

### ～昼間人口とは～

**昼間人口** A市の昼間人口=A市の常住人口-A市からの流出人口+A市への流入人口(買物客など非定期的な移動は含まれない。)

**夜間人口** 調査時期に調査の地域に常住している人口。

**昼夜間人口比率** 常住人口100人当たりの昼間人口の割合。

$$A \text{ 市の昼夜間人口比率} = \frac{A \text{ 市の昼間人口}}{A \text{ 市の常住人口}} \times 100$$



おしえてコバトン

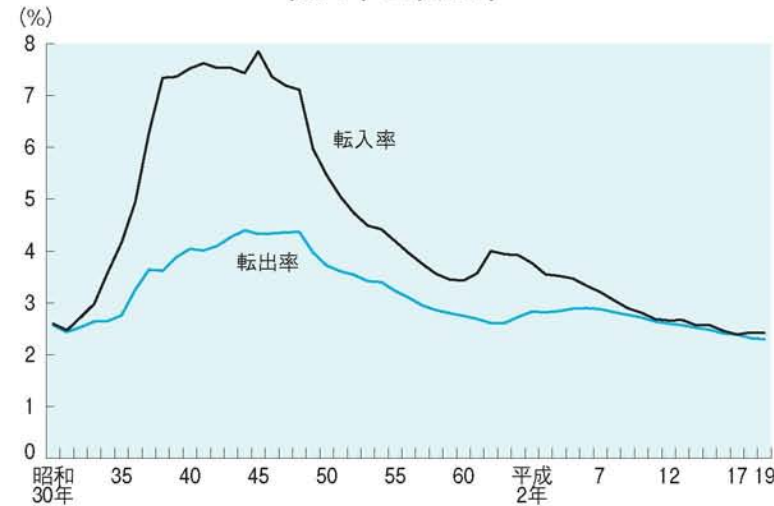


# 10 転入・転出

単 位	*1 他都道府県からの 転入者数		*2 他都道府県への 転出者数		*3 転入超過数		*4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 579 538		2 579 538		-		-	
北海道	51 445	13	71 712	9	△ 20 267	47	△ 0.36	34
青森県	20 620	32	30 894	27	△ 10 274	46	△ 0.73	47
岩手県	19 087	35	26 097	32	△ 7 010	42	△ 0.52	43
宮城県	50 193	14	55 587	13	△ 5 394	39	△ 0.23	25
秋田県	13 237	41	20 043	38	△ 6 806	41	△ 0.61	45
山形県	14 658	38	19 853	39	△ 5 195	38	△ 0.44	40
福島県	27 283	24	36 232	18	△ 8 949	44	△ 0.44	40
茨城県	52 849	12	55 295	14	△ 2 446	18	△ 0.08	14
栃木県	36 609	15	36 727	16	△ 118	8	△ 0.01	8
群馬県	28 979	23	31 845	26	△ 2 866	23	△ 0.14	17
埼玉県	169 565	3	161 021	4	8 544	5	0.12	6
千葉県	167 172	4	147 540	5	19 632	4	0.33	3
東京都	443 349	1	348 849	1	94 500	1	0.76	1
神奈川県	242 080	2	209 606	2	32 474	2	0.37	2
新潟県	25 653	29	32 436	24	△ 6 783	40	△ 0.28	26
富山県	14 041	39	15 861	42	△ 1 820	14	△ 0.17	19
石川県	18 450	36	20 603	36	△ 2 153	16	△ 0.19	23
福井県	9 647	47	12 199	47	△ 2 552	21	△ 0.32	31
山梨県	13 770	40	16 277	41	△ 2 507	20	△ 0.29	28
長野県	29 954	22	34 706	20	△ 4 752	34	△ 0.22	24
岐阜県	30 597	21	34 325	21	△ 3 728	27	△ 0.18	21
静岡県	61 521	9	63 300	10	△ 1 779	12	△ 0.05	11
愛知県	132 349	6	111 829	6	20 520	3	0.29	4
三重県	33 478	16	32 716	23	762	7	0.04	7
滋賀県	30 714	20	27 684	30	3 030	6	0.22	5
京都府	57 453	10	61 790	11	△ 4 337	29	△ 0.17	19
大阪府	164 884	5	169 836	3	△ 4 952	36	△ 0.06	12
兵庫県	100 403	8	101 840	8	△ 1 437	10	△ 0.03	9
奈良県	27 263	25	32 183	25	△ 4 920	35	△ 0.35	33
和歌山県	12 716	42	17 447	40	△ 4 731	32	△ 0.47	42
鳥取県	10 160	46	12 625	46	△ 2 465	19	△ 0.41	37
島根県	11 613	43	14 547	44	△ 2 934	25	△ 0.40	36
岡山県	32 164	17	33 904	22	△ 1 740	11	△ 0.09	15
広島県	53 031	11	56 702	12	△ 3 671	26	△ 0.13	16
山口県	26 633	26	30 862	28	△ 4 229	28	△ 0.29	28
徳島県	10 761	44	13 681	45	△ 2 920	24	△ 0.37	35
香川県	19 789	34	21 597	35	△ 1 808	13	△ 0.18	21
愛媛県	20 357	33	24 816	33	△ 4 459	30	△ 0.31	30
高知県	10 287	45	14 829	43	△ 4 542	31	△ 0.58	44
福岡県	107 719	7	109 844	7	△ 2 125	15	△ 0.04	10
佐賀県	17 442	37	20 176	37	△ 2 734	22	△ 0.32	31
長崎県	26 029	27	36 093	19	△ 10 064	45	△ 0.70	46
熊本県	31 196	18	36 331	17	△ 5 135	37	△ 0.28	26
大分県	23 492	30	24 337	34	△ 845	9	△ 0.07	13
宮崎県	21 864	31	26 608	31	△ 4 744	33	△ 0.42	39
鹿児島県	31 141	19	38 216	15	△ 7 075	43	△ 0.41	37
沖縄県	25 841	28	28 037	29	△ 2 196	17	△ 0.16	18

資料出所： \*1~4  
 [住民基本台帳人口移動報告年報]総務省統計局  
 時点(周期)： 平成19年(毎年)

# 転入率と転出率



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

## 2年連続の転入超過

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成19年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は169,565人で、前年よりも384人減少し、全国第3位でした。内訳は、東京都からが最も多く59,564人、次いで神奈川県が14,309人、千葉県が14,286人でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より1,220人減少して161,021人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く61,877人、次いで神奈川県が16,696人、千葉県が16,295人でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、18年から再び転入超過となり、平成19年の転入超過数は8,544人で、転入超過率は0.12%でした。

## ◆ 自然増加の大きい都道府県 ◆

順位	自然増加数(人)	自然増加率(%)
1	神奈川県 17,604	沖縄県 0.51
2	愛知県 15,736	愛知県 0.22
3	埼玉県 9,934	神奈川県 0.20
4	東京都 7,547	滋賀県 0.19
5	沖縄県 7,095	埼玉県 0.14
6	大阪府 6,287	千葉県 0.10
7	千葉県 5,809	大阪府 0.07
8	滋賀県 2,543	東京都 0.06
9	福岡県 2,297	福岡県 0.05
10	兵庫県 424	兵庫県 0.01

## ◆ 社会増加の大きい都道府県 ◆

順位	社会増加数(人)	社会増加率(%)
1	東京都 92,913	東京都 0.75
2	神奈川県 39,660	神奈川県 0.45
3	千葉県 26,742	千葉県 0.44
4	愛知県 24,394	愛知県 0.34
5	埼玉県 15,358	滋賀県 0.27
6	滋賀県 3,766	埼玉県 0.22
7	栃木県 1,423	栃木県 0.07
8	兵庫県 1,309	三重県 0.06
9	三重県 1,140	兵庫県 0.02
10	静岡県 316	静岡県 0.01

資料：「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(平成20年3月31日現在)」総務省HP

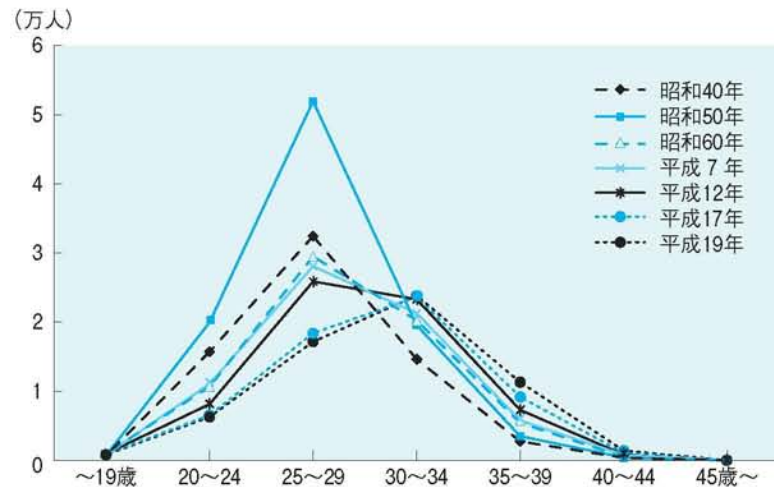


# 11 出生

単 位	*1 出生数		*2 出生率		*3 自然増加率		*4 合計特殊出生率	
	人	順位	人口千対	順位	人口千対	順位	—	順位
全 国	1 089 818		8.6		△ 0.1		1.34	
北海道	41 550	9	7.5	44	△ 1.8	31	1.19	45
青森県	10 162	34	7.2	46	△ 3.4	41	1.28	38
岩手県	10 344	31	7.6	41	△ 3.3	40	1.39	23
宮城県	19 810	14	8.5	26	△ 0.2	13	1.27	39
秋田県	7 502	41	6.7	47	△ 5.6	47	1.31	35
山形県	9 139	36	7.7	40	△ 3.4	41	1.42	16
福島県	17 101	19	8.3	32	△ 2.1	32	1.49	8
茨城県	24 829	12	8.5	27	△ 0.5	16	1.35	28
栃木県	17 233	18	8.7	19	△ 0.5	16	1.39	22
群馬県	16 817	21	8.5	25	△ 0.8	21	1.36	27
埼玉県	60 818	5	8.7	18	1.5	5	1.26	40
千葉県	51 821	6	8.6	21	1.1	6	1.25	41
東京都	103 837	1	8.3	31	0.6	8	1.05	47
神奈川県	79 193	2	9.0	7	2.1	3	1.25	42
新潟県	18 724	15	7.8	39	△ 2.7	37	1.37	26
富山県	8 728	37	8.0	38	△ 2.3	34	1.34	33
石川県	10 294	33	8.9	13	△ 0.4	14	1.40	21
福井県	7 191	42	8.9	11	△ 0.9	23	1.52	6
山梨県	6 988	43	8.1	35	△ 1.6	28	1.35	29
長野県	18 618	16	8.7	20	△ 1.5	27	1.47	12
岐阜県	17 696	17	8.6	22	△ 0.6	19	1.34	30
静岡県	33 274	10	9.0	10	0.2	10	1.44	14
愛知県	70 218	4	9.8	2	2.3	2	1.38	24
三重県	15 716	24	8.6	23	△ 0.8	21	1.37	25
滋賀県	13 343	26	9.7	3	2.0	4	1.42	17
京都府	21 597	13	8.3	30	△ 0.4	14	1.18	46
大阪府	76 914	3	8.9	12	0.8	7	1.24	43
兵庫県	48 685	7	8.8	14	0.1	11	1.30	37
奈良県	11 261	30	8.0	36	△ 0.5	16	1.22	44
和歌山県	7 689	40	7.6	42	△ 3.5	44	1.34	32
鳥取県	5 015	47	8.4	28	△ 2.7	37	1.47	13
島根県	5 914	45	8.1	33	△ 3.8	45	1.53	5
岡山県	17 099	20	8.8	15	△ 0.6	19	1.41	19
広島県	25 887	11	9.1	5	△ 0.1	12	1.43	15
山口県	11 714	29	8.0	37	△ 3.4	41	1.42	18
徳島県	6 011	44	7.6	43	△ 3.1	39	1.30	36
香川県	8 701	38	8.7	17	△ 1.7	29	1.48	9
愛媛県	11 753	28	8.1	34	△ 2.5	35	1.40	20
高知県	5 717	46	7.3	45	△ 4.3	46	1.31	34
福岡県	46 393	8	9.2	4	0.5	9	1.34	31
佐賀県	7 703	39	9.0	8	△ 1.3	26	1.51	7
長崎県	12 175	27	8.4	29	△ 2.2	33	1.48	10
熊本県	16 307	23	9.0	9	△ 1.1	25	1.54	4
大分県	10 162	34	8.5	24	△ 1.7	29	1.47	11
宮崎県	10 337	32	9.1	6	△ 0.9	23	1.59	2
鹿児島県	15 090	25	8.7	16	△ 2.6	36	1.54	3
沖縄県	16 588	22	12.1	1	5.3	1	1.75	1

資料出所： \*1~4  
 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
 時点(周期)： 平成19年(毎年)

## 母の年齢(5歳階級)別出生数



### 出生数は減少傾向

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると平成19年の出生数は前年より383人減少して、60,818人で全国第5位でした。年次推移を見ると、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後若干の増減はありますが減少傾向にあります。

また、出生率は8.7で、前年の8.8を0.1ポイント下回り全国第18位でした。出生率も第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年ころからは10.0前後で推移していましたが、平成13年以降減少を続け、前年は6年ぶりに増加に転じたものの、平成19年は再び減少しました。

### 合計特殊出生率は3年連続上昇

自然増加率は1.5で、前年より0.3ポイント低下しました。合計特殊出生率は3年連続で上昇し、前年より0.02ポイント上回り1.26で、全国第40位でした。

※出生率、自然増加率、合計特殊出生率の算出に用いた日本人人口は、平成19年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

※表\*1,2全国計に住所が外国の者を含みます。

※表\*2,4の順位は、厚生労働省公表の順位です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増加率 自然増加数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

### ～出生率の高い市町村は？～

平成19年埼玉県の人口動態概況によると、人口千人に対する出生率で最も高率だったのは、伊奈町の12.0、次いで戸田市の11.7、和光市の11.5でした。低率だったのは東秩父村と鳩山町の4.1、吉見町の4.4でした。



おしえてコバトン

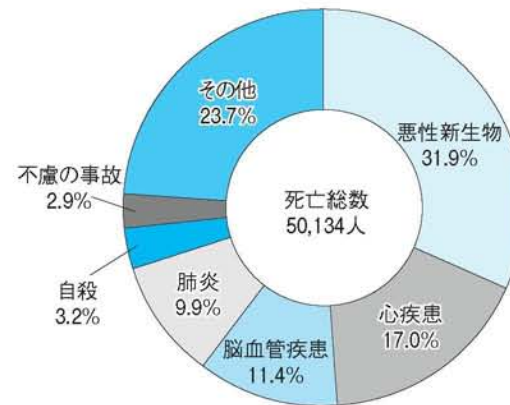


# 12 死亡

## 死因別死亡数の構成比(平成19年)

単 位	死亡数 (総数)		死亡率		死亡数 (悪性新生物)		死亡数 (心疾患)	
	人	順位	人口千対	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 108 334		8.8		336 468		175 539	
北海道	51 456	5	9.3	28	16 488	5	8 454	5
青森県	14 968	28	10.7	11	4 598	27	2 351	29
岩手県	14 768	29	10.9	9	4 041	29	2 503	27
宮城県	20 347	17	8.7	37	6 137	15	3 101	18
秋田県	13 743	30	12.3	1	3 937	30	2 031	32
山形県	13 242	31	11.1	6	3 845	32	2 094	31
福島県	21 339	16	10.4	16	5 935	17	3 761	15
茨城県	26 244	11	9.0	33	7 681	12	4 211	11
栃木県	18 184	23	9.2	32	5 293	20	3 022	19
群馬県	18 498	20	9.3	27	5 333	19	2 880	24
埼玉県	50 134	6	7.2	45	16 007	6	8 523	4
千葉県	45 473	8	7.6	43	13 981	9	7 934	7
東京都	96 354	1	7.7	42	30 532	1	15 418	1
神奈川県	61 093	3	7.0	46	20 237	3	9 102	3
新潟県	25 126	13	10.5	14	7 657	13	3 827	13
富山県	11 194	36	10.2	18	3 292	35	1 506	40
石川県	10 717	37	9.2	29	3 225	36	1 761	36
福井県	7 886	46	9.8	23	2 278	46	1 298	46
山梨県	8 347	45	9.7	24	2 360	44	1 316	43
長野県	21 910	15	10.2	19	6 043	16	3 360	16
岐阜県	18 910	19	9.2	30	5 478	18	3 198	17
静岡県	32 507	10	8.7	35	9 391	10	4 989	10
愛知県	53 618	4	7.5	44	16 570	4	8 099	6
三重県	17 141	24	9.4	26	4 781	25	2 731	26
滋賀県	10 649	38	7.8	41	3 221	37	1 679	38
京都府	22 619	14	8.7	36	6 866	14	3 766	14
大阪府	70 283	2	8.1	40	23 474	2	10 968	2
兵庫県	47 877	7	8.7	38	15 156	7	7 527	8
奈良県	11 902	33	8.5	39	3 857	31	2 155	30
和歌山県	11 256	35	11.1	7	3 384	34	1 876	33
鳥取県	6 601	47	11.1	8	1 964	47	1 045	47
島根県	8 660	43	11.9	2	2 513	42	1 343	41
岡山県	18 325	22	9.5	25	5 129	23	2 967	21
広島県	26 070	12	9.2	31	7 702	11	4 205	12
山口県	16 736	25	11.4	4	4 837	24	2 775	25
徳島県	8 484	44	10.7	12	2 291	45	1 319	42
香川県	10 428	39	10.4	15	2 993	39	1 711	37
愛媛県	15 427	26	10.7	10	4 257	28	2 897	23
高知県	9 071	41	11.6	3	2 368	43	1 535	39
福岡県	43 919	9	8.8	34	14 130	8	5 524	9
佐賀県	8 787	42	10.3	17	2 690	40	1 316	43
長崎県	15 310	27	10.6	13	4 611	26	2 383	28
熊本県	18 375	21	10.1	21	5 132	22	2 915	22
大分県	12 188	32	10.2	20	3 531	33	1 834	34
宮崎県	11 361	34	10.0	22	3 146	38	1 793	35
鹿児島県	19 493	18	11.3	5	5 204	21	3 000	20
沖縄県	9 399	40	6.9	47	2 613	41	1 314	45

資料出所：\*1~4  
 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
 時点(周期)：平成19年(毎年)



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

### 死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成19年の死亡数は前年より1,555人増加し50,134人(男性27,699人、女性22,435人)で、全国第6位でした。死亡率は7.2で、前年よりも0.2ポイント上昇しました。

### 昭和56年以降死因順位第1位は悪性新生物

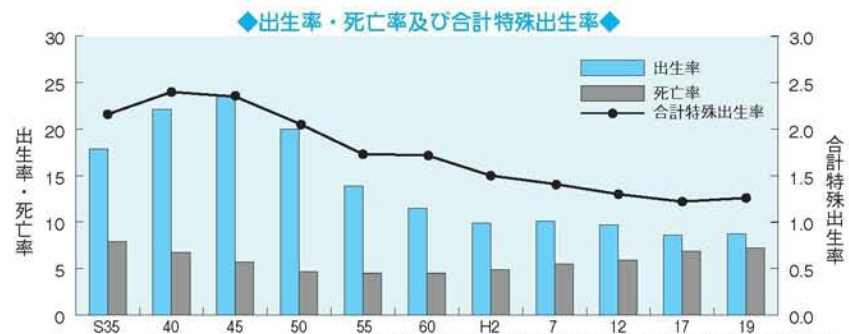
死因別にみると、死亡数は悪性新生物が16,007人(死亡総数の31.9%)と最も多く、続いて心疾患8,523人(同17.0%)、脳血管疾患5,728人(同11.4%)、肺炎4,960人(同9.9%)、自殺1,585人(3.2%)、不慮の事故1,460人(2.9%)の順でした。

また、年齢階級別の死因別割合をみると、10歳代までは不慮の事故、20歳代、30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなっています。

※表\*1,2の全国計に住所が外国・不詳の者を含みます。  
 ※表\*2の順位は、厚生労働省公表の順位です。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成19年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。



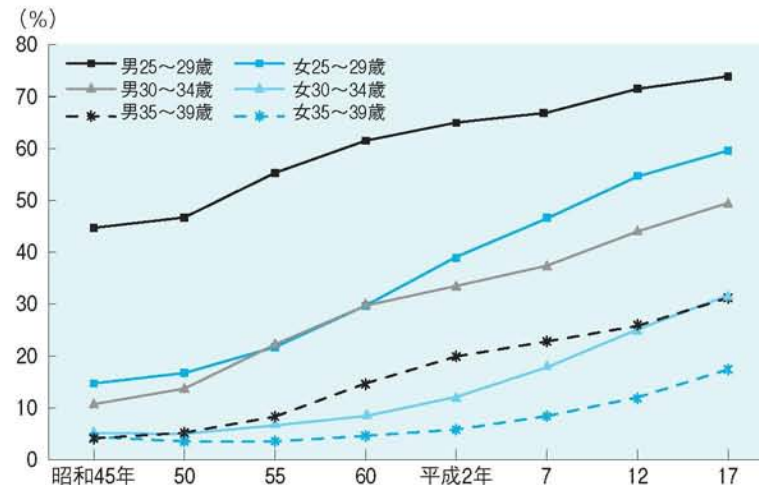
資料：「人口動態統計(確定数)の概況」「人口動態統計」厚生労働省  
 「保健統計年報」県保健医療政策課

# 13 婚姻・離婚

単 位	*1 婚姻件数		*2 離婚件数		*3 平均初婚年齢・夫		*4 平均初婚年齢・妻	
	件	順位	件	順位	歳	順位	歳	順位
全 国	719 822		254 832		30.1		28.3	
北海道	28 825	9	12 956	6	29.5	28	28.1	14
青森県	6 405	31	3 014	26	29.4	31	27.6	39
岩手県	6 354	32	2 308	34	29.7	19	27.6	39
宮城県	12 824	14	4 665	14	29.7	19	27.8	25
秋田県	4 484	40	1 894	38	29.4	31	27.5	44
山形県	5 461	36	1 988	36	29.7	19	27.7	30
福島県	10 178	20	4 159	15	29.2	41	27.2	47
茨城県	15 582	12	5 824	11	29.9	14	27.8	25
栃木県	11 108	17	4 041	16	30.0	11	28.0	18
群馬県	10 370	19	3 914	18	29.9	14	28.1	14
埼玉県	40 304	5	14 201	4	30.6	3	28.5	5
千葉県	35 751	6	12 352	7	30.6	3	28.6	3
東京都	89 243	1	26 627	1	31.5	1	29.5	1
神奈川県	56 487	2	18 265	3	31.0	2	29.0	2
新潟県	11 192	15	3 506	23	29.9	14	28.0	18
富山県	5 184	38	1 674	41	30.1	8	28.2	12
石川県	5 990	35	1 886	39	29.8	18	28.1	14
福井県	4 124	43	1 334	45	29.7	19	27.7	30
山梨県	4 454	41	1 723	40	30.5	5	28.4	8
長野県	11 141	16	3 938	17	30.5	5	28.5	5
岐阜県	10 687	18	3 560	22	29.7	19	27.8	25
静岡県	21 150	10	7 208	10	30.0	11	28.1	14
愛知県	46 940	4	13 772	5	30.0	11	28.0	18
三重県	9 919	22	3 377	24	29.6	27	27.7	30
滋賀県	7 888	26	2 495	32	29.7	19	27.9	23
京都府	13 978	13	4 962	13	30.3	7	28.6	3
大阪府	51 994	3	20 328	2	30.1	8	28.5	5
兵庫県	30 433	7	10 821	9	29.9	14	28.3	9
奈良県	6 906	30	2 580	31	30.1	8	28.3	9
和歌山県	4 961	39	2 229	35	29.3	37	27.7	30
鳥取県	2 879	47	1 172	46	29.2	41	27.7	30
島根県	3 203	46	1 119	47	29.5	28	27.8	25
岡山県	10 130	21	3 657	20	29.4	31	27.7	30
広島県	16 135	11	5 514	12	29.5	28	27.8	25
山口県	7 269	28	2 683	29	29.3	37	27.6	39
徳島県	3 751	44	1 530	44	29.4	31	27.7	30
香川県	5 253	37	1 987	37	29.3	37	27.9	39
愛媛県	7 302	27	2 898	27	29.0	45	27.5	44
高知県	3 549	45	1 663	42	29.7	19	28.2	12
福岡県	29 486	8	11 115	8	29.7	19	28.3	9
佐賀県	4 213	42	1 542	43	29.0	45	27.5	44
長崎県	6 972	29	2 734	28	29.3	37	28.0	18
熊本県	9 450	23	3 570	21	29.2	41	27.7	30
大分県	6 311	33	2 412	33	29.4	31	28.0	18
宮崎県	6 250	34	2 601	30	29.0	45	27.6	39
鹿児島県	8 732	24	3 336	25	29.2	41	27.7	30
沖縄県	8 620	25	3 698	19	29.4	31	27.9	23

資料出所：\*1~4  
 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP  
 時点(周期)：平成19年(毎年)

## 年代別未婚率



資料：「国勢調査」総務省統計局

### 低下を続ける婚姻率

「人口動態統計(確定数)の概況」によると、平成19年の婚姻件数は、前年より603件減少して40,304件、婚姻率は5.8でした。

離婚件数は、前年より84件増加して14,201件で、離婚率は2.03でした。

### 上がる初婚年齢

平均初婚年齢は、夫が30.6歳、妻が28.5歳で、それぞれ前年より0.2歳、上昇しました。

「国勢調査」による平成17年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性73.9%、女性59.6%で、前回調査(平成12年)に比べそれぞれ2.4ポイント、5.0ポイント上昇しています。

また、30~34歳では男性49.5%、女性31.7%で、前回調査に比べそれぞれ5.5ポイント、6.6ポイント上昇しています。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

\*婚姻率、離婚率に用いた日本人人口は、平成19年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者÷当該年齢(年代)の総人口×100

### ◆平均婚姻年齢の年次推移◆

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19
夫	埼玉	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.4	30.6
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.0	30.1
妻	埼玉	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.3	28.5
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.2	28.3

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課 HP